

**横尾議員** 県立海部病院移転候補地の地権者受諾状況及造成事業課題対策はということについて、お尋ねしたいと思います。3月6日に中村地区町内会長を対象にした、県立海部病院移転候補地の説明会がありました。内容はと言えば、大まかな計画図を掲示しての経過報告に終わりました。県立海部病院移転は地域住民にとっては、重大な関心ごとで、町にしても災害拠点施設としての機能を備えた県立病院が地元で建つことは大変ありがたいことです。地権者とは、用地買収の承諾を得られたように聞いていますが、町道との取り合い道路に係る地権者とは、いまだに協議中であるとも聞いて、懸念しています。町としては造成工事のみとなりますが、牟岐バイパスより早く工事着手するようになり、牟岐バイパスを横断して病院造成地に進入する計画と現時点ではなっています。牟岐バイパスとの取り合い部の設計がうまく納まるといいと考えておりますが、双方の設計協議等で問題のないように、事前打ち合わせを十分していくことが大切であると考えます。この前の説明会のお話に出てきましたが、埋蔵文化財の試掘調査、本調査を行うことになると聞きました。工事遅延の原因にならないように願うばかりです。県は予算等の関係で病院施設の工事着手時期は決定しているのではありませんか、3月9日の徳島新聞によると2013年度中に着手となっています。来年度中ですね。町としては、工事期間の少ない日程で、県へ造成地の引き渡し日から、逆算しての工事の予定を立てることになります。そう考えると先ほどの協議中の地権者との件は、一日でも早く承諾をしていただけるよう尽力をお願いいたします。また、説明会で、町長はこの工事に伴い排水路整備を考えているようでしたが、そうになると、対象地権者と協議もしなくてはなりません。この事業を遅滞なく迅速にやり遂げるため、町の取組をお伺いします。そして、2番目なのですが、先程の藤元議員の質問と重なってしましますが、健康管理センターの管理運営についてということです。現在は、建築当時とは違って温泉が出なくなり、町は入湯税収入はありません。温泉施設としての魅力はなくなりました。そして、当時の設計や設備機器が現在の燃料負担を強いています。燃料費も当時と比べ値上がりしています。機械類の整備費用等も町が予算を組んで営業している状況です。確かに施設のみを取り上げれば町の負担ではありますが、しかし、私は施設自体のことで、存続か廃止かと問われれば、存続していかなければとお答えします。なぜなら町民の保養施設として、コミュニティセンターとして、また、対外的な観光拠点としての役目を担う施設でもあり、交流人口増加の目的には、なくてはならない施設だと考えるからです。昨年の漁業者は、台風の影響で水揚げが非常に悪かったと聞きました。自然を相手の仕事では仕方のないことだと思います。漁業者に限らず他業種も現実

に仕事も少なく疲弊した状況であります。不景気な波は、いつまで続くのでしょうか。でも一つだけ右肩上がりで伸びている事業があります。それは、南阿波よくばり体験です。年々受入校が増加していると聞いています。また、この下旬からは、牟岐町に今までなかった観光物産館がオープンの運びとなります。こうした事業や施設と連携した展開で、今後は健康管理センターの運営を考えていくべきでしょう。今回の現指定管理者の問題は、契約違反と言えればわかりやすいですが、一言で済ませられません。また、施設利用者の不利益にならないようにしなければなりません。町として、議会としても責任を重く受け止めなければならぬと考えます。今後、施設の存続、廃止の議論に展開していくようであれば、住民の意見を十分に聞き入れ、健康管理センターの今後に向けて、協議していかねばならないでしょう。先程、この件につきましては、町長、産業建設課長より施設の利用検討委員会を組織し検討するという見解、また、開会冒頭で、この後の議会終了後、健康管理センターの協議会をする予定だと議長からの連絡もありました。一応、この答弁については結構でございます。傍聴席の皆さんにこの件について一緒に考えてもらいたくて通告させていただきました。よろしくお願いいたします。

**枅富議長** 横尾議員、健康管理センターの答弁は要らないということですか。

**横尾議員** 先程も重複した内容になりますので。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** 海部病院の移転用地造成の件でございます。できるだけでなく必ず工期に間に合わせ海部病院ができるようにというふうな意味でのご質問だと思います。それで、地権者の状況ですけれども、一応、病院の区域につきましては、町の勝手な解釈でございますけれども、現時点では、ほぼ全員の同意を得ていると考えています。ただ、進入路につきましては、今、議員がおっしゃいましたように、今現在、交渉中と言いましょか、だいたいご理解をいただいていると、病院については考えております。そして、今現在、コンサルに発注して用地の測量中でございます。それができましたら具体の境界立会もやって地権者を確定したいというふうに考えております。それと、国交省のバイパスの事業と並行してやってまいりますので、国交省との協議というのが本当に重要になってまいります。これからできるだけ連絡を密にしてお互い間違いのないように、また、町

に取りましては、できるだけその費用負担が少なくなるように国の方にも要望してまいりたいと考えております。埋蔵文化財でございますが、先月実施した事前調査では、瓦の石とか土器の破片が見つかって、文化財の可能性が大きいということで、4月以降に試掘を実施するという段取りになってございます。そして、県の方の病院の建設につきましては、国の地域医療再生計画における再生基金を利用した施設整備を行うということで、県といたしましては、25年度中に建築工事、再来年ですねが期日ということでございますので、町といたしましては、これに間に合うように造成する。そして、先程おっしゃいました町道と排水も含めて周辺部分につきましては、これまででできればいいのですけど、できなくても建築工事と並行して進んでいくというのも可能と考えております。できるだけその時間を有効に活用しながら良いものができるようにやってまいりたいと考えております。以上でございます。

**枅富議長** 横尾議員。

**横尾議員** 造成工事にあたりまして、遅延するような要因として天候不順とか、そういうことも考えられますので、そういうことも含めて、また、国交省のプロジェクトというか、牟岐バイパスをいかにして国の動きというものが、たぶん鈍いだろうと考えているわけですね。だから逆に牟岐町が発破をかけてくると、そういうことを積極的に接触をして打ち合わせ、協議していくというふうにしていただきたいと、そういう面では、この事業の特別プロジェクトチームのようなものを立ち上げていただいて取り組んでいていただきたいと思います。また、造成工事に伴いまして立木等を伐採による再利用というのも考えなくてはならないと思いますので、そういった総合的なことも含めて、この専門的なプロジェクトチームを是非立ち上げて進めていきたいと思いますが、どうでしょうか。

**枅富議長** 福井町長。

**福井町長** プロジェクトチームと言いますか、来年度は現在の産業建設課を3つに分けて産業、建設、水道というふうに分離して、力を分散するのではなくて集中するような形でやっていけたらと考えております。ただ、議員が最後におっしゃいましたように木も有効活用しながらということになってきましたら、また、産業と建設の方で一緒に作

業をするような場も出てくるとは思いますけども、プロジェクトチームというのは、建設の中でもさらに一部というわけにもまいりませんので、建設で集中でやっていただくというふうなことを考えております。以上でございます。

**枘富議長** 横尾議員。

**横尾議員** 課が分かれるということでしたので、期待をしておりますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。私は以上です。